



## 2022年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年11月14日

上場会社名 日機装株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6376 URL <https://www.nikkiso.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 甲斐 敏彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 吹田 恒久 TEL 03(3443)3711  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有  
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年12月期第3四半期の連結業績 (2022年1月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第3四半期	131,204	10.5	35,330	744.5	34,755	647.8	15,151	—	14,923	—	36,044	431.6
2021年12月期第3四半期	118,770	6.3	4,183	△29.3	4,647	△15.1	1,091	△75.5	983	△76.9	6,780	133.9

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第3四半期	210.51	210.26
2021年12月期第3四半期	13.80	13.79

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年12月期第3四半期	301,126	124,769	123,141	40.9
2021年12月期	298,963	94,199	92,197	30.8

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2022年12月期	—	12.50	—	—	—
2022年12月期 (予想)	—	—	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2022年12月期の連結業績予想 (2022年1月1日～2022年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	180,000	7.3	35,000	—	36,000	810.8	16,500	—	231.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 一社（社名）一、除外 1社（社名）LEWA GmbH

(2) 会計方針の変更・会計上の見積もりの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積もりの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2022年12月期3Q	74,286,464株	2021年12月期	74,286,464株
2022年12月期3Q	6,073,697株	2021年12月期	3,038,653株
2022年12月期3Q	70,891,281株	2021年12月期3Q	71,248,091株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	10
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ① 決算成績の概況

2022年第3四半期の世界経済は、COVID-19収束後の経済活動の再開で個人消費が下支えしているものの、世界的なインフレや金利の上昇によって景気回復のペースが鈍化しています。ウクライナ情勢、インフレによる家計の逼迫、中国の景気減速などが重くのしかかり、経済の先行きは大変に不透明な状況です。当社グループにとっても、エネルギー関連などの事業機会が広がる一方で、原材料・部品などの調達リスクは前年からさらに高まっており、経営環境はより一層先行きが不透明な状況となっています。

インダストリアル事業は、世界的なエネルギー価格高騰を受けてエネルギー確保や脱炭素化への投資が引き続き旺盛で、半導体や自動車関連の投資も活発だったことから受注は拡大しています。航空宇宙事業は、小型機（単通路機）を中心とした航空機需要の回復により主力のカスケードの生産・出荷が増加しています。しかしながら、中・大型機の需要回復が遅れていることに加えて、コロナ禍による航空機需要の激減から大きな打撃を受けた部品製造のサプライチェーンの再構築にも時間を要すると見られていることから、航空機産業は当面厳しい状況が続くとの見方が強まっており、当社の航空宇宙事業の本格的な回復には時間を要すると考えられます。メディカル事業は、足元では血液透析装置需要は旺盛、受注は堅調ながら、国内市場全体で部品不足による納期調整が継続したことで、国内向け血液透析装置販売が減少し、収益面でも、半導体など原材料・部品の予想を上回る供給不足と想定を上回る価格高騰が継続したことなどによって大きく減益となりました。また、ヘルスケア事業は、当第2四半期において据置型装置の販売低迷に伴う棚卸資産の評価損を1,516百万円計上しましたが、想定よりも販売が低迷していることから、当第3四半期において完成品在庫と一部部材についての評価損を2,339百万円追加計上しました。

なお、2022年8月1日付「(開示事項の経過) 連結子会社の異動(株式譲渡)完了に関するお知らせ」とおり、2022年8月1日に当社連結子会社である LEWA GmbH (以下、LEWA社) 及び Geveke B.V. (以下、Geveke社) の全株式譲渡を完了しました。本株式譲渡により、連結決算において約368億円の株式譲渡益を、セグメント上の調整額(全社費用等)に計上しています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループ業績は、受注高 155,855百万円(前年同期比13.8%増)、売上収益 131,204百万円(同10.5%増)、営業利益 35,330百万円(前年同四半期は4,183百万円)、税引前四半期利益 34,755百万円(前年同四半期は4,647百万円)、親会社の所有者に帰属する四半期利益 14,923百万円(前年同四半期は983百万円)となりました。

## ② セグメント別の状況

(単位：百万円)

	2021年12月期 第3四半期実績	2022年12月期 第3四半期実績	前年同期比	
			増減額	増減率
受注高	136,977	155,855	+18,878	+13.8%
工業部門	82,963	98,063	+15,099	+18.2%
インダストリアル事業	73,412	88,186	+14,774	+20.1%
航空宇宙事業	6,725	8,267	+1,542	+22.9%
医療部門	55,424	58,166	+2,741	+4.9%
売上収益	118,770	131,204	+12,433	+10.5%
工業部門	67,222	76,637	+9,414	+14.0%
インダストリアル事業	57,455	66,955	+9,499	+16.5%
航空宇宙事業	6,891	8,188	+1,297	+18.8%
医療部門	53,324	54,929	+1,604	+3.0%
セグメント利益	4,183	35,330	+31,146	+744.5%
工業部門	2,916	2,818	△98	△3.4%
インダストリアル事業	4,039	3,746	△292	△7.3%
航空宇宙事業	△1,754	△828	+925	—
医療部門	4,402	△1,470	△5,873	—
調整額（全社費用等）	△2,852	33,743	+36,595	—
税引前四半期利益	4,647	34,755	+30,107	+647.8%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	983	14,923	+13,939	—

※ 工業部門合計欄には、深紫外線LED事業の金額が含まれています。

※ 医療部門には、ヘルスケア事業の金額が含まれています。

※ セグメント間取引の増加に伴い、セグメント業績をより適切に示すために、セグメントごとの各金額欄には、内部取引控除前の金額を表示しています。

## 《工業部門》

### ＜インダストリアル事業＞

経済活動の正常化に加え、ロシア・ウクライナ情勢による資源価格の高騰が続くなか、エネルギー確保や脱炭素化によるLNGや水素関連への投資に加え、半導体や自動車関連の投資が進んでいます。

Clean Energy & Industrial Gasグループ（以下、CE&IGグループ）は、水素ステーション関連やLNG液化プラントの大口受注を獲得するほか、LNG燃料船向けの燃料供給装置や産業ガス関連の受注も好調に推移し、売上収益も前年から増加しましたが、人件費の上昇や旺盛な受注に対応するための体制整備等の先行費用の増加で、前年からは減益となりました。また、国内のポンプ・システム事業は、半導体製造工場やEVへの投資などが活況で、受注を大きく伸ばしており、宮崎インダストリアル工場は高い稼働を維持しています。

なお、LEWA社及び Geveke社は、2022年8月1日付でこれらの株式譲渡を完了し、以降は当社の連結範囲から除外されています。その他、電子部品製造機器事業は、スマートフォン向けの半導体需要は低調のなか、EV等の半導体需要は堅調で、ハイエンドMLCC用装置の受注は好調に推移しています。

### ＜航空宇宙事業＞

民間航空機需要は、中・大型機（双通路機）の回復は依然時間を要すると見込まれるものの、小型機（単通路機）の需要回復に伴い、宮崎航空宇宙工場のカスケードの生産はほぼフル稼働の状況で、収益性は回復傾向にあります。航空機産業におけるコロナ後のサプライチェーンの再構築・見直しが進んでいることから、従来、中・大型機向けの部品生産を主力としていたベトナム・ハノイ工場においてエアバス製小型機 A220向けの新規部品の受注を獲得する等、足元の事業環境の変化に応じた取組みを進めています。次世代交通手段eVTOLや水素を燃料とする航空機の実用化、商業用小型人工衛星といった新市場創出へ向けた取り組みも本格化しており、事業領域の拡大と技術力、生産体制の強化による航空関連部品メーカーとしての地位の向上を図ってまいります。

以上の結果、工業部門の受注高は98,063百万円（前年同期比18.2%増）、売上収益は76,637百万円（同14.0%増）、セグメント利益は2,818百万円（同3.4%減）となりました。

## 《医療部門》

### ＜メディカル事業＞

血液透析事業は、国内市場では、血液透析装置の買い替え需要は旺盛で受注は堅調に推移していますが、国内市場全体で半導体等の部品不足による納期調整が継続していることから、装置販売は減少しました。消耗品販売は粉末型人工腎臓透析用剤の需要が引き続き堅調です。一方、海外市場は、中国が引き続き好調を継続、他市場は装置販売が前年を下回ったものの、消耗品販売は血液回路を中心に堅調に推移しました。収益面では、国内市場の血液透析装置の減収、想定を上回る原材料・部品価格の高騰、物流費、欧州等の血液回路の緊急空輸費などで、事業全体としては大きく減益となりました。原材料・部品不足や価格高騰にともなう販売価格への転嫁が厳しい市場環境のなか、コスト削減に向けた施策等の見直しを進めています。

CRRT事業は、中国のコロナ再拡大に伴う装置、消耗品需要の急拡大で、好調に推移しました。また、深紫外線LED技術を活用したヘルスケア事業は、据置型装置の販売が、厳しい競争環境や需要の減退により大幅な減少となり、当第3四半期の売上収益は前年同期比648百万円減少の749百万円となりました。こうした環境下、今後の販売予測を再度精査し見直した結果、当第3四半期に完成品在庫と一部部材についての評価損を2,339百万円追加計上しています。今後は、足元では引合いの好調なマンションやオフィス等の不動産向け、交通機関向けの組込型装置や水除菌装置などのBtoBビジネスに注力し収益の安定化に取り組んでまいります。

以上の結果、医療部門の受注高は58,166百万円（前年同期比4.9%増）、売上収益は54,929百万円（同3.0%増）、セグメント利益は△1,470百万円（前年同四半期は4,402百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は301,126百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,163百万円増加しました。関係会社株式の売却に伴い、現金及び現金同等物が増加した一方、のれん及び無形資産等が減少したことが主な要因です。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は176,357百万円となり、前連結会計年度末に比べて28,405百万円減少しました。借入金の返済による減少が主な要因です。

当第3四半期連結会計期間末の資本合計は124,769百万円となり、前連結会計年度末に比べ30,569百万円増加しました。利益剰余金の増加及び在外営業活動体の換算差額の影響が主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期において、ヘルスケア事業の棚卸資産について想定外の評価損を計上しましたが、LEWA社及びGeveke社の株式譲渡益が想定よりも上振れたこともあり、連結ベースでは概ね想定範囲内で進捗しています。一方、特にメディカル事業では、原材料・部品などの調達リスクは前年からさらに高まっており、価格高騰にともなう販売価格への転嫁がなかなか進みにくい市場環境も相まって当社を取り巻く情勢は厳しさを増しています。現時点では業績予想を据え置きますが、今後、各事業の業況変化を見極め、修正の必要が生じた場合は速やかに開示いたします。当該業績予想で前提としている為替レートは、129円/米ドル、136円/ユーロです。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	29,027	60,894
営業債権及びその他の債権	56,532	50,826
その他の短期金融資産	331	228
たな卸資産	46,777	49,312
未収還付法人所得税	1,043	1,502
その他の流動資産	5,227	6,985
流動資産合計	138,940	169,750
非流動資産		
有形固定資産	55,209	50,286
のれん及び無形資産	62,634	36,860
使用権資産	16,135	16,724
持分法で会計処理されている投資	3,570	3,724
長期金融資産	18,298	20,627
繰延税金資産	3,587	2,438
その他の非流動資産	585	713
非流動資産合計	160,022	131,376
資産合計	298,963	301,126



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
短期借入金	43,472	13,809
営業債務及びその他の債務	29,241	26,817
リース負債	2,738	2,681
その他の短期金融負債	734	586
未払法人所得税等	958	18,326
引当金	1,202	2,083
その他の流動負債	18,338	22,411
流動負債合計	96,686	86,715
非流動負債		
長期借入金	88,703	69,761
リース負債	12,544	12,913
その他の長期金融負債	654	167
退職給付に係る負債	2,717	2,312
引当金	297	597
繰延税金負債	3,074	3,804
その他の非流動負債	85	85
非流動負債合計	108,076	89,641
負債合計	204,763	176,357
資本		
資本金	6,544	6,544
資本剰余金	10,976	10,964
自己株式	△2,495	△5,473
その他の資本の構成要素	7,662	28,218
利益剰余金	69,509	82,887
親会社の所有者に帰属する持分	92,197	123,141
非支配持分	2,002	1,628
資本合計	94,199	124,769
負債及び資本合計	298,963	301,126

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
売上収益	118,770	131,204
売上原価	△79,732	△95,850
売上総利益	39,038	35,354
販売費及び一般管理費	△35,628	△37,842
その他の収益	1,143	37,957
その他の費用	△370	△138
営業利益	4,183	35,330
金融収益	1,351	660
金融費用	△793	△1,337
持分法による投資利益(△は損失)	△93	102
税引前四半期利益	4,647	34,755
法人所得税費用	△3,555	△19,603
四半期利益	1,091	15,151
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	983	14,923
非支配持分	108	227
四半期利益	1,091	15,151
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	13.80	210.51
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	13.79	210.26

要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
四半期利益	1,091	15,151
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融資産	△373	939
持分法適用会社に対する持分相当額	0	1
合計	△372	941
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	5,454	19,046
キャッシュ・フロー・ヘッジ損益	245	366
持分法適用会社に対する持分相当額	362	537
合計	6,061	19,951
税引後その他の包括利益	5,688	20,893
四半期包括利益	6,780	36,044
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	6,664	35,529
非支配持分	115	514
四半期包括利益	6,780	36,044

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間（自 2021年1月1日 至 2021年9月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				その他の包括利益を通じて測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額
2021年1月1日	6,544	10,976	△2,495	7,162	△5,549
四半期利益					
その他の包括利益				△372	5,808
四半期包括利益合計	—	—	—	△372	5,808
自己株式の取得			△0		
配当金					
所有者との取引額等合計	—	—	△0	—	—
2021年9月30日	6,544	10,976	△2,495	6,789	259

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジ損益	合計				
2021年1月1日	△818	794	70,501	86,322	1,856	88,179
四半期利益			983	983	108	1,091
その他の包括利益	245	5,681		5,681	7	5,688
四半期包括利益合計	245	5,681	983	6,664	115	6,780
自己株式の取得				△0		△0
配当金			△1,424	△1,424	△69	△1,494
所有者との取引額等合計	—	—	△1,424	△1,425	△69	△1,494
2021年9月30日	△573	6,476	70,060	91,561	1,903	93,465

当第3四半期連結累計期間（自 2022年1月1日 至 2022年9月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				その他の包括利益を通じて測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額
2022年1月1日	6,544	10,976	△2,495	5,524	2,631
四半期利益					
その他の包括利益				941	19,297
四半期包括利益合計	—	—	—	941	19,297
自己株式の取得			△2,999		
自己株式の処分		0	2		
配当金					
株式に基づく報酬取引		△12	18		
子会社の支配喪失に伴う変動					
利益剰余金への振替				△50	
所有者との取引額等合計	—	△11	△2,978	△50	—
2022年9月30日	6,544	10,964	△5,473	6,415	21,928

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジ損益	合計				
2022年1月1日	△492	7,662	69,509	92,197	2,002	94,199
四半期利益			14,923	14,923	227	15,151
その他の包括利益	366	20,606		20,606	287	20,893
四半期包括利益合計	366	20,606	14,923	35,529	514	36,044
自己株式の取得				△2,999		△2,999
自己株式の処分				3		3
配当金			△1,595	△1,595	△74	△1,670
株式に基づく報酬取引				5		5
子会社の支配喪失に伴う変動					△814	△814
利益剰余金への振替		△50	50	—		—
所有者との取引額等合計	—	△50	△1,545	△4,585	△888	△5,474
2022年9月30日	△125	28,218	82,887	123,141	1,628	124,769

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。